

NIHON UNIV. Equestrian Team

Vol.26

2017. winter



勝ち続けるということ

監督 諸岡 慶



今年度の全日本学生三大会が終わりました。まず嬉しい報告ができますことを心から皆様に感謝します。

7年連続となる三

種目総合優勝を勝ち取り、本学も勢いづく結果となりました。これも日頃からご指導ご鞭撻をいただいております、OB 及び関係者の皆様並びに、学生のご父母の皆様のお力があってこそだと感じております。馬場馬術競技と

総合馬術競技の2種目を団体優勝、個人でも今橋が2種目優勝する結果を残しました。またこの馬場と総合は、自力があるところを見せたかと思えます。しかし、障害は惜しくも優勝は逃し2位という形になってしまいました。初日の減点が響いてしまいました。本学の勝ちきれない種目である障害競技を来年は優勝するため日々の練習にもっと力を入れていきたいと思えます。みんなでひとつの目標を共有し、それを達成するにはどうすればよいか。組織の中で自分の役割はどうあるべきかを考え、実行に移し、結果に結びつけること。また、学生に気付きを与える

ことにより、一人ひとりが自分で考え、主体性を持って動くことで、人間形成に役立つと考えています。スポーツの世界ではよく「結果が全て」という言葉を耳にします。もちろん勝負事ですから勝たなければいけません。しかし、たとえ負けたとしても それまでの努力が無駄になることは絶対にありません。大事なことは勝つために行ったプロセスであり、「あきらめない気持ち」、「やればできる」という思いを持つことです。

常に全員で全国大会優勝という目標に向かって頑張っていきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

全日本学生馬術三大会 三種目総合7連覇！

今回の全日本学生馬術大会 2017 は馬場馬術競技・総合馬術競技で団体優勝し、その競技で4年今橋裕晃が2冠を果たしました。3種目総合も勝ち取り、見事7連覇することができました。

初日の障害飛越競技では団体2位と、いいスタートがされました。第1走行目は人馬ともに緊張からか、3年吉永一篤 & 桜照・1年名倉賢人 & 桜真は減点4、4年今橋裕晃 & 桜浩・大久保貴史 & 桜魂は減点8、2年広瀬楓 & 桜艦は減点26で走行を終えました。第2走行目は大久保貴史 & 桜魂・吉永一篤 & 桜照・名倉賢人 & 桜真が減点0で走行を終え、この上位3人が団体成績に大いに貢献し総減点16で終えました。団体1位の関西大学は総減点12で、あと少しというところで差は縮まりませんでした。が、魂ある走行を見せつけてくれました！個人でも名倉賢人 & 桜真が5位、吉永一篤 & 桜照が7位に入賞しました。

馬場馬術競技では、4年の今橋裕晃 & 桜陽が69.425%をたたき出し個人優勝しました！！

それに続き細川映里香 & 桜雲も68.275%で準優勝、2年の柿平紗枝 & 桜憧も65.900%で4位という結果で終わりました。団体も総得点率195.629、2位の立命館大学の総得点率182.081に10点差以上つけて勝ち取りました。

また競技にでた3人馬全員が決勝競技に進み息のあった最高の演技を見せつけ自己最高得点率をたたき出しました。障害飛越競技に続き

本学の強みである馬場馬術競技で圧倒的な強さを見せつけ最終種目の総合競技に挑めました。

その、総合競技でも見事個人・団体ともに優勝を勝ち取りました。

調教審査では4年今橋裕晃 & 桜虎が68.53%で1位通過し、3年の吉永一篤 & 桜宝は67.31%で追いかける展開となりました。耐久審査では団体選手全員が減点0で走行を終え、余力審査では1位の選手と3位の選手は1落差もない接戦でした。

が、今橋裕晃 & 桜虎は安定した走行で、減点0でフィニッシュし見事優勝しました。しかし吉永一篤 & 桜宝は減点12・4年渡邊瑞生 & 桜里・2年吉岡亮祐 & 桜恋は減点4で走行を終え悔しい結果でもあり課題が残るものとなりました。

団体競技では総減点172.1・2位の関西大



学は総減点200.1・3位の専修大学は総減点220.7で総合競技を終えました。

3種目総合では、1072ポイント、2位の関西大学は600ポイント、3位の専修大学は511ポイントで圧倒的な差をつけ今年の全日本学生も無事に終了しました。

すべての競技で本学の実力が発揮できたと思います。このような素晴らしい結果で終われたのも、監督はもちろん競技関係なく競技場でアドバイスをしてくださったコーチ、差し入れを持って来てくださり、様々なサポートをしてくださったOB・OGの皆様のおかげです。今年の全日本学生が終わり新しい代になっても、連覇し続けられるよう部員一同全力で頑張っていきたいと思いますので、これからもご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年度全日本学生馬術三大大会

第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会

名倉 賢人 桜真



全日本学生賞典障害飛越競技に桜真とコンビを組んで出場しました。

1年生で選手として出場させて頂き貴重な体験が出来ました。監督・コーチ陣・先輩や同期・サポートしてくださった方々にはとても感謝しています。初めての全日本学生は、団体は2位、個人は5位で終わることができました。無事に終われたことの安堵感がありますが、悔しさが残る結果でしたので、これからも日々練習に励み日本大学馬術部に貢献できる選手になりたいです。そして来年は優勝します。

第60回全日本学生賞典馬場馬術競技大会

細川 映里香 桜雲



桜雲と団体優勝、個人第2位という結果を残すことができました。個人優勝を逃したことは悔しいですが、最後まで私の気持ちに応えてくれた桜雲には感謝しかありません。予選、決勝共にミスはありましたが、馬は良く動いてくれ、団体優勝に貢献することができました。熱いご指導をくださった監督コーチ陣、サポートしてくださった皆さんに心から感謝しています。本当に素晴らしい馬に出会えて、たくさん成長させて頂きました。ありがとうございました。

第60回全日本学生賞典総合馬術競技大会

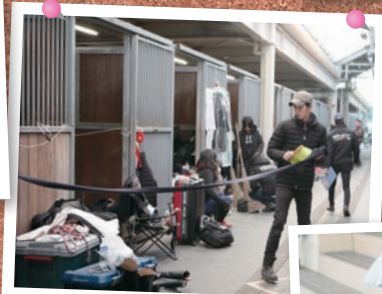
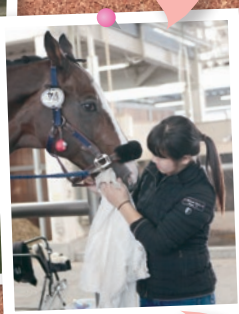
吉永 一篤 桜宝



今回桜宝とのコンビで全日本学生総合馬術競技に出場しました。

調教審査は67.31%、耐久審査で減点0と良いスタートを切ることが出来ましたが、本来得意としている、余力審査でミスが重なり減点12という悔しい走行となってしまいました。個人では5位入賞しましたが、満足のいく結果を残すことができませんでした。来年は今年逃した3種目完全優勝に向けて部全体を引っ張っていけるような存在になれるよう努力します。

日大魂!



主将・今橋裕晃



主将として7連覇の大きな重圧があった今年の全日本学生でした。

私は三種目全てに出場させていただき、馬場と総合で二種目制覇という自分では

信じられない成績を収めることが出来ました。馬場馬術は、今年度からの新たなパートナーの桜陽と自身の最高得点率で、優勝することができました。うまくいかなかった事が多かった桜陽との一年でしたが、全日本の舞台で桜陽は本当に良く頑張ってくれました。総合では、二年連続で周囲から勝ちきれないと言われ、悔しい思いをしていたので特別な気持ちが入っていました。最後の年に個人優勝という形で終われた事が本当に嬉しく思い、経験豊富なパートナーの桜虎に沢山助けられたので、感謝の気持ちでいっぱいです。

無事に連覇の轡を繋ぐ事ができ、四年間支えて下さった監督はじめ皆様に心から感謝しております。ありがとうございました。



全日本学生馬術三大大会2017
3種目総合優勝を祝して
特設ページが
オープンしました!

<http://www.nu-equestrian.com/lp/>



国民体育大会活躍選手



細野コーチ国民体育大会総合馬術5連覇達成

本学のコーチである、細野茂之さん！えひめ国体で将軍Iとのコンビで複合馬術競技5連覇されました！！おめでとうございます。連覇のプレッシャーも撥ね退け満点で走行を終え、とても格好良かったです。

本田成美とアドミラルベンチャー号 ダービー競技準優勝

今回えひめ国体にふるさと選手として参加しました。開催県なのでフルエントリーできる反面、入賞しなければというプレッシャーがありました。ダービー競技では、一走目を減点0でゴールをきりジャンプオフに残りました。優勝は出来ませんでしたが2位になって良かったです。総合成績とし、天皇杯で2位に皇后杯7位という成績を残せて良い経験となりました。陰ながら応援してくれた親、自由に合宿や競技に行かせてくれた監督、コーチには感謝しきれないです。ふるさと選手としてえひめ国体に参加でき本当に良かったです。



熱盛っ!!

えひめ国体の主な成績

今回、選手としてコーチの細野茂之さん、菅原権太郎さん、3年吉永一篤・本田成美、2年柿平紗枝・広瀬楓が出場しました。本学を卒業した先輩方7人も出場している大会です。

第3競技 成年女子二段階障害飛越競技				Jump off	
10位	柿平 紗枝	Nラッキーボーイ	総減点0	タイム39.74	減点0
16位	本田 成美	オーキッドブルー	総減点4		

第8競技 成年男子国体総合馬術競技			
優勝	細野 茂之	将軍I	総減点43
2位	稗田 龍馬	クエブA	総減点44.6

第6競技 成年男子ダービー競技				Jump off	
6位	細野 茂之	将軍I	総減点0	タイム32.36	減点4
10位	吉永 一篤	桜照	総減点4		

第9競技 成年女子ダービー競技				Jump off	
2位	本田 成美	アドミラルベンチャー	総減点0	タイム31.53	減点0
11位	広瀬 楓	フェアバンクスカーゴ	総減点12		

第89回全日本学生馬術選手権大会 / 第53回全日本学生馬術大会女子選手権大会

男子 今橋 裕晃 ・ 女子 細川 映里香 優勝！！ 細川2年連続！！

今回の選手権は福岡県の馬術競技場で3日間にわたり、行われました。選手権とは男女別に分かれ貸与馬に乗り決められた練習時間で初めて乗る馬の特徴などを理解し競技に挑む難しい大会です。

本学からは男女5名ずつ出場し、決勝戦には男子に今橋、吉永、古野・女子に細川、渡邊が勝ち進みました。昨年もこの大会で細川と渡邊が決勝戦まで残り細川が優勝しましたが、今年も見事細川が2年連続で優勝の座を勝ち取りました。今橋は東京農業大学の吉田選手と僅差での戦いを制し、全日本学生馬術三大会に続き優勝しました。

応援してくださった皆様ありがとうございました。



新しい厩舎が完成しました！

本厩舎より頑丈な作りになっており、一馬房『縦2.6×横3.5』と馬房も広がっているの馬の安全性も、より高まり快適な空間になりそうです。デザインもシンプルで風通しもよく、明るい作りになっています。



NUジャンパー

今年のNUジャンパーはこんな感じになりました！！デザインは黒色を基調とした、シックで落ち着いたものにしました。背中には監督のイニシャルである「チームK」の文字が刻まれており、肩には個人の名前入りです。

ドイツのメーカーで、防水・防寒により優れています。

チームジャンパーからも気持ちを一つに頑張っていきたいと思います。



ボディープロテクター



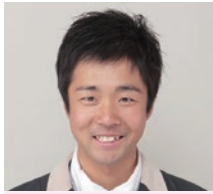
総合馬術競技で使われる、プロテクターが新しくなりました。

日大のカラーである、ピンクをより鮮やかに使い、一目で本学と分かるようになっております。また監督・コーチからプロテクターの下に着る、アンダーも作っていただきました！普段からでも身につけられる万能タイプとなっております！

このアンダーとプロテクターで総合競技のスタイルとなっております。



37名の部員紹介



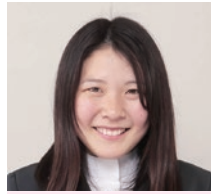
(4年) 今橋 裕晃
生物資源科学部 森林資源科学科



(4年) 大久保貴史
生物資源科学部 植物資源科学科



(4年) 松下 聖弥
生物資源科学部 獣医学科



(4年) 伊藤 遥
生物資源科学部 植物資源科学科



(4年) 細川映里香
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(4年) 渡邊 瑞生
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 逢坂 凌平
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 加藤 勝
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 吉永 一篇
生物資源科学部 生命農学科



(3年) 井上 永久
生物資源科学部 獣医学科



(3年) 大岩 桃子
生物資源科学部 動物資源科学科



(3年) 本田 成美
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 松井 久実
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 仲本 浜香
生物資源科学部 生命化学科



(2年) 磯野 太
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 古野 博人
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 吉岡 堯祐
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 柿平 紗枝
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 霜島 果月
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 寺澤 穂
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 丹野あんず
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 中込 沙樹
生物資源科学部 動物資源科学科



(2年) 広瀬 楓
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 有賀 翔
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 氏部 倫大
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 酒井 将慶
生物資源科学部 生命農学科



(1年) 坂田 樹基
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 田中 那樹
生物資源科学部 生命農学科



(1年) 名倉 賢人
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 谷津 友崇
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 伊藤 なな海
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 木村 峰々
生物資源科学部 国際地域開発学科



(1年) 野々垣 菜鈴
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 萩原 ひな
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 藤岡 彩美
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 石博 大樹
生物資源科学部 動物資源科学科



(1年) 堀澤 圭太
●●学部 ●●学科



平成30年度 前期行事予定



1月

- 1月1日 初乗り会(日本大学馬術部)
- 1月13日 六会ホースショー(日本大学馬術部)
- 1月10日~16日 オーストラリア合宿(全日本学生馬術連盟)

2月

- 2月13日~18日 ウィル総合講習会(三木ホースランドパーク)
- 2月17日~18日 2月ホーストライアル(三木ホースランドパーク)
- 2月24日~25日 第38回スケーリング大会(東関東ホースパーク)

3月

- 3月未定 第62回三獣医大学馬術大会(東京競馬場)
- 3月16日~18日 東京六大学馬術競技大会(東京競馬場)
- 3月17日~18日 東都学生馬術大会(東京競馬場)
- 3月24日~25日 3月ホーストライアル(三木ホースランドパーク)
- 3月25日 卒業式(日本武道館)

4月

- 4月6日~8日 第19回ホースフェスティバルIN津久井(津久井馬術競技場)
- 4月7日~8日 関東学生馬術新人競技大会・OB競技大会(未定)
- 4月8日 入学式(日本武道館)
- 4月20日~22日 アジア大会選考会ホーストライアル(三木ホースランドパーク)

5月

- 5月3日~6日 2018 Fuji Horse Show Spring Jumping Festival(御殿場馬術競技場)
- 5月11日~13日 関東学生馬術選手権・女子選手権(未定)
- 5月25日~27日 第39回全日本ヤング総合馬術競技大会2018(山梨県馬術競技場)

6月

- 6月23日~24日 御殿場馬場馬術競技会Part II 2018(御殿場馬術競技場)
- 6月未定 平成30年度関東学生馬術三代大会(山梨県馬術競技場)

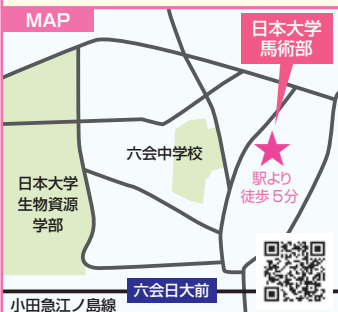
卒業生の主な就職先

(順不同)

- 日本大学
- JRA日本中央競馬会
- 地方競馬全国協会
- 株式会社乗馬クラブクレイン
- 福井工業大学
- 獣医師
- 株式会社P&Pホールディングス
- SMBC日興証券
- 公益社団法人日本馬事協会
- ノーザンファーム
- 有限会社松風馬事センター
- 東海道旅客鉄道株式会社
- 日本馬事普及

合宿所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 840
TEL:0466-81-0288
FAX:0466-81-8885
▶e-mail
nihonndaigakubajyutubu@gmail.com



○編集担当：伊藤 遥・井上 永久